

高齢者の潜在的居住支援ニーズと住まいのマッチングのための「見える化」プロセス

I 高齢者世帯の概況把握

0・地域概要(人口、世帯数) 平成27年国勢調査

	総数	65歳以上	75歳以上
人口	335,444人	81,853人	39,883人
世帯数	138,082世帯	53,809世帯	28,579世帯

65歳以上世帯人員のいる世帯 75歳以上世帯人員のいる世帯

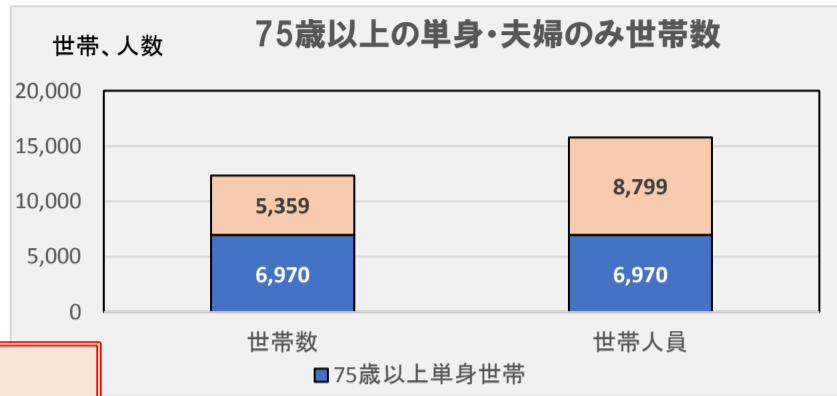
Focus① 高齢者単身・夫婦のみ世帯(平成27年国勢調査より)

	世帯数	世帯人員
65歳以上単身世帯	13,877	13,877
65歳以上夫婦のみ世帯	13,043	23,370
計	26,920	37,247
75歳以上単身世帯	6,970	6,970
75歳以上夫婦のみ世帯	5,359	8,799
計	12,329	15,769

※世帯数：65歳以上、75歳以上の世帯員がいる世帯

※世帯人員：65歳以上、75歳以上の世帯人員

Focus① 75歳以上の単身・夫婦のみ世帯
潜在層を含めた要見守り世帯と想定される。



II 潜在的な居住支援ニーズの把握

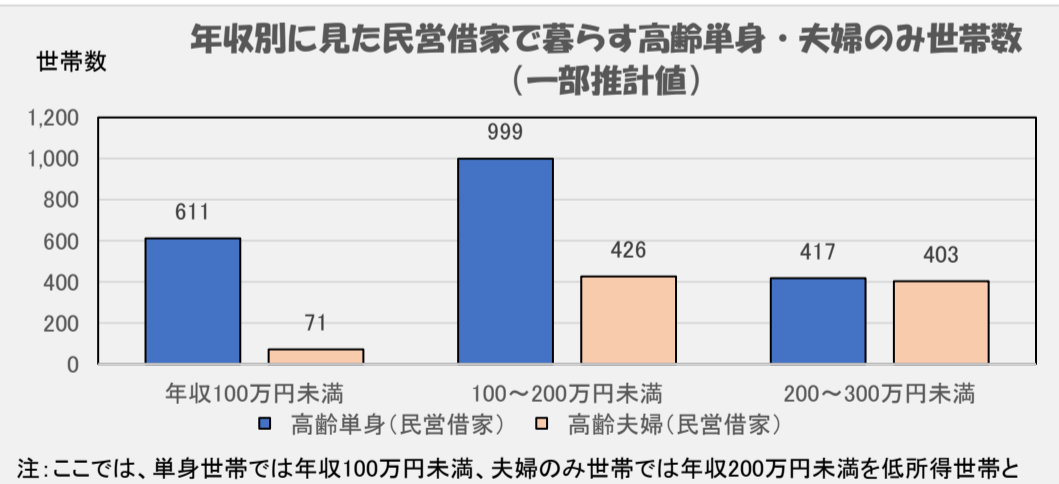
Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮の低所得高齢者世帯数(平成25年 住宅・土地統計調査より、推計値)

	借家で暮らす高齢単身世帯・夫婦のみ世帯数	(内訳)			低所得世帯※	
		年収100万円未満 (=月収8万3千円未満)	100~200万円未満 (=月収16万6千円未満)	200~300万円未満 (=月収25万円未満)	世帯数	割合
65歳以上単身世帯数						
高齢単身(持ち家)	6,240	1,050	1,628	1,128	1,050	16.8%
高齢単身(借家)	3,070	946	1,153	485	946	30.8%
高齢単身(公営・都市再生機構(UR)・公社の借家)	610	261	211	73	261	42.9%
高齢単身(民間借家)	2,460	611	999	417	611	24.8%
高齢単身(給与住宅)	0	0	0	0	0	-
65歳以上夫婦のみ世帯数(参考)						
高齢夫婦(持ち家)	9,340	405	1,575	3,121	1,979	21.2%
高齢夫婦(借家)	1,410	159	529	423	687	48.7%
高齢夫婦(公営の借家)	240	42	101	67	143	59.5%
高齢夫婦(都市再生機構(UR)・公社の借家)	0	0	0	0	0	-
高齢夫婦(民間借家)	1,170	71	426	403	497	42.5%
高齢夫婦(給与住宅)	0	0	0	0	0	-

※ここでは「低所得世帯」を下記の定義で分類

単身世帯：年収100万円(月収8万3千円)未満

夫婦のみ世帯：年収200万円(月収16万6千円)未満



Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮者

借家、特に民間借家で暮らす低所得の高齢世帯(特に単身世帯)は、潜

民間借家の低所得高齢者世帯数		
高齢単身世帯	611	世帯
高齢夫婦のみ世帯	497	世帯
計	1,109	世帯

Focus②-2 老朽化した住宅で暮らす低所得高齢世帯数(推計値)

築50年以上経過した持ち家の割合	7.2%
------------------	------

※統計の区分上、昭和35年以前に建築された持ち家の割合を利用

Focus②-2 老朽化住宅に居住する低所得高齢世帯
老朽化した持ち家で暮らす低所得高齢者世帯は、早期に転居・住まい確

潜在的な居住支援ニーズの合計			
	持ち家※1	民間借家※2	計
高齢単身世帯	76	611	687
高齢夫婦のみ世帯	143	497	640
計	219	1,109	1,328

※1 持ち家低所得×築50年以上の割合

※2 借家低所得世帯

この数値を参考に
各市町村の実情を踏まえ

III 活用可能性のある賃貸住宅の把握

Focus③ 管内の「腐朽・破損なし」の賃貸用空き家戸数

腐朽・破損のない賃貸住宅戸数	6,300戸
----------------	--------

《比較》

Focus③ 管内の有効な住宅資源の確認